

日本ジオパークの現地審査報告書における「生態資源」の評価と傾向

Trends on and assessments of "ecological resources" in the Evaluation Mission Reports for Japanese Geoparks

*平田 和彦^{1,2}、加藤 雄也^{1,3}、中村 真介¹、藤井 利衣子¹、森口 夏季^{1,4}

*Kazuhiko HIRATA^{1,2}, Yuya Kato^{1,3}, Shinsuke Nakamura¹, Rieko Fujii¹, Natsuki Moriguchi^{1,4}

1. 日本ジオパークネットワーク生態学ワーキンググループ、2. 千葉県立中央博物館、3. (一社)ノヤマカンパニー、4. 土佐清水ジオパーク構想

1. Ecological Working Group for Japan Geopark Network, 2. Natural History Museum and Institute, Chiba, 3. Noyama Company, 4. Tosashimizu Geopark Promotion Council

地質資源を基軸とするジオパークにおいて、地質資源とつながりのある生態資源や文化資源にも着目することは、活動を深化させるうえで非常に重要である。しかしながら、これらの関連分野について十分に理解し活用を推進できている地域は多くない。

そこで、本発表では、2008年からこれまでに実施された日本ジオパークの現地審査の報告書から、生態資源に関する記述を抜き出し、その評価と傾向を整理する。本発表を通じて、生態資源に関連する分野を専門とする筆者らと、ジオパークに関心を持つ地球科学者や事務局を務める行政担当者らとの議論を深め、ジオパークにおける生態資源の理解と活用を促したい。

キーワード：日本ジオパーク、生態資源、現地審査報告書

Keywords: Japanese geoparks, ecological resources, Evaluation Mission Report